



少子高齢化が進む山北地区にとって、子どもたちは地域の宝!山北で子どもが産まれた話を聞 くと、嬉しくなりますよね!

今回から、今年度産まれた山北地区在住のお子さんを紹介することで、地域の皆さんにハッピ ーな話題をお届けしていきます。

記念すべき第1号は、府屋駅前通の本間くるみちゃんです。



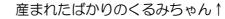
- ◇本間 くるみ ちゃん
- ◇女の子
- ◇府屋駅前通
- ◇平成 30 年 10 月 2 日生まれ
- ◇ご両親:本間準平さん・あゆみさん

予定日ぴったりに産まれてきてくれたというくるみちゃん。パッチリとした二重まぶたが印象 的で、取材中、たくさんおしゃべりをしてくれました。

ご両親は、女の子だったらひらがなにしようと決めていたそうで、秋っぽいイメージ、音の響 き、ママがミスターチルドレンの「くるみ」が好きなどの理由から名付けたとのこと。

元気よく遊び、誰とでも仲良くなれるような子に育ってほしいと願っているそうです。







妹の誕生ににっこり↓お姉ちゃんのあんずちゃ h

まちづくり通信がリニューアル!

域の話題などをたくさんお届け 今後もまちづくり協議会や地

通信」は、 さん咲きますように」 の綿毛が飛ぶように話題が広が 今回から「さんぽくまちづくり 山北にまちづくりの花がたく 「さんぽぽ」としてリニ 「さんぽぽ」 という意味 「たんぽぽ

る上で欠かせません。日用品、

食

靴など、皆さん必ず買

「買い物」は、

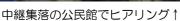
私たちが生活す

域トピックス

11月14日から17日にかけて、明治大学農学部小田切ゼミナールの皆さんが、農村調査実 習のため山北に滞在されました。小田切ゼミは、主に農山村などにおける地域づくりについて研 究しており、平成 18 年からほぼ毎年、山北で調査実習を実施されています。

今回も地域の皆さんにご協力いただき、中継集落や大毎集落の取り組み、山北地区で活動する 各種団体の取り組み、地域おこし協力隊の活動などを調査されました。







大毎集落の「吉祥清水」を見学↑

今年は、実習最終日に学生の調査報告会も兼ねた「関係人口シンポジウム」を山北支所と共催 し開催。「関係人口」とは、移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」でもない、地域や 地域の人たちとさまざまな形で関わる人々のことです。

小田切先生からは、「いきなり移住するのはハードルが高く、地域との関わりを深める「関わ りの階段」が重要。」、「都市部にはない体験ができる農山村は、関わり価値が高い。」などのお話 がありました。

また、学生からは、「外部の人とのつながりを深めることで、地域の魅力を外に伝えてもらう 可能性が広がる。」などの報告がありました。

今後の私たちの取り組みに活かすとともに、これからも小田切ゼミと山北の関わりを大切にし ていきたいですね!



山北地区外からも多くの皆さんが参加

います。 見ると、 の課題であることがわかると思 このようなアンケー 放ってはおけない ト結果を 地域

きな課題となっていくのではな い物に困る人が増え、さらに大人口減少が進むと、ますます買 いでしょうか? これから先、 さらに高齢化や

C

地域パ むこととしました。 結果も踏まえ、

物支援のカタチを探してきまし 先進地の取り組みを視察するな き取りを行ったり、 参考に買い物困難者の実態やニ 援をミッションとする地域おこ ーズを把握したり、 し協力隊の川村悠樹さんと協力 取り組みを始めるにあたって 他のアンケー 山北地区の買い物困難者支 山北地区に合った買い ト調査結果を さまざまな 集落での聞

みを開始しました。 地域の課題解決に向けた取り組 地区まちづくり計画に基づき、 山北地区まちづくり協議会で 平成29年度から第2次山北

買い物困難者の増加に注目. の中で、大毎集落のアンケー って実施した協議会委員研修会 「買い物困難者支援」に取り組 トナーズ部会を中心に 地域課題として

この取り組みを進めるにあた う結論に至りました。 そこで、 〇法人さんぽくスポー さんぽく互近所ささえーる

川村さんを中心に、

-協

開催しました。 山北で初めての買い物ツアーを ツアー実行委員会」を立ち上げ、 隊、当協議会が協力して「買い物

助け、

近所の住民同士の支えあ

このことは、

家族や親戚の手

60代

買い物

農地山林

金融機関

災害への備え 移動手段

70代

買い物

農地山林

いなどでカバー

していることが

50代

農地山林

買い物

進学・進路 仕事・雇用 医療

り運転ができない人も多くいま

運転免許証の返納などによ 高齢化が進む山北において

80代

軽作業

買い物

農地山林

日常生活

金融機関 移動手段

は車などで行く必要があります す。そうなると、当然、お店まで ないという場合が大変多い いった物が買えるお店が近くに

しかし、山北においては、そう

い物をしていると思います。

題として見えてこなかった部分

40代

買い物

医療

子育て環境

大毎集落のアンケート結果(日常生活における困りごと)

多く、これまで、あまり地域の課

かもしれません。

の世代で「買い物」が上位に入る

1位 買い物

3位 移動手段

通学不便

10代~80代までの全て

における困りごとという項目に

20代

買い物

子育て環境

移動手段

住民アンケー

しかし、

大毎集落で行われた トでは、日常生活

30代

上事・雇用

買い物

が適しているのではないかとい いる「買い物ツアー」という方法 ような地域でも多く実施されて にくい物が買えて、 その結果、 山北では手に入り 山北と似た